2026/11/9

＜白金標準、アンダーシュートの巻き戻し相場・・＞



（出所：オアシス）

中間選挙で上下両議会を民主党が過半数を確保し、トランプ大統領が早期の敗北を認めた事から混乱リスクの逃避売りから緩和の巻き戻しへ市場心理が移行し、一時 6737 円まで売り込まれた白金標準先物は、好調な雇用統計を受けて 7592 円まで戻りを見せている。

特に WPIC、JM 社、メタルズフォーカスなどによりプラチナ市場は、3 年連続の供給不足が示唆され、一時は 8 月に 9653 円まで高値を試しているも、フランスの財政不安や政情不安によるユーロ安や AI 企業の過剰設備投資に伴う見合ったリターンの懸念、中間選挙の混乱などから売り込まれたが、エネルギー価格の上昇に伴い南アフリカの鉱物生産量は低下しており、またシバニースチールウォーターの北米事業部は 5 週間のストライキで 2 トンの生産減少を報告するなど、今月 18 日の WPIC 第 3 四半期 PGM 需給報告では前回の 8 トンの供給過剰予想から供給不足へ移行する可能性も秘めている。また 2027 年は 2022 年以来、5 年ぶりのプラチナ鉱山での賃金交渉が予定されており、年始からの値上がり相場が想定されるなど強気相場への移行など期待され、白金標準先物で 7000 円台は買いの域と思え、2027 年に向けたロング・ポジションを構築するチャンスに思える。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD が上昇し、シグナルは下げ止まっている。RCI では短期は上昇し、長期は切り上げだしている。特に指数平滑移動平均線のレンジに日足が移行し、7800 円に向けたレンジ離脱の動きに思える。

2026/11/9

レポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

〇商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 6,540,000 円（2026 年 11 月 9 日現在）です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。 〇商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 5 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。 〇商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 86,900 円（2026 年 11 月 9 日現在）です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社（商品先物取引業者）の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当（東京）電話 03-5540-8423 （受付時間：平日 8:30～17:30）

証券・金融商品あっせん相談センター https://www.finmac.or.jp 日本商品先物取引協会相談センター https://www.nisshokyo.or.jp